

平成26年度入試

東京藝術大学 美術学部 入試説明会 デザイン科

※写真の撮影・録音は禁止です

※携帯電話等は音が出ないように設定してください

平成25年9月29日

デザイン科 入試説明会プログラム

1. 学長 挨拶
2. 学部長 挨拶
3. 科長 挨拶
4. 入試説明
5. 学生生活紹介
6. 質疑応答

ナビゲーター 藤崎 圭一郎
押元 一敏

学長 宮田 亮平

学部長 保科豊巳

科長 箕浦 昇一

入試説明

デザイン科入試概要

東京藝術大学美術学部デザイン科の入試選抜は、大学入試センター試験、本学が実施する実技検査、出身学校長から提出された調査書の各資料を総合して判定します。

実技検査は一次選抜として「鉛筆写生」を行い、一次選抜合格者のみが、二次選抜「デザインI(色彩)」、「デザインII(形体)」を受験し、合格者を決定します。

詳細については『平成26年度入学者選抜要項』をお読みください。

デザイン科 一次試験 鉛筆写生

□問題(参考)

台上に置かれた石膏像(ゲタ)を与えられた
画用ボードに鉛筆写生しなさい。

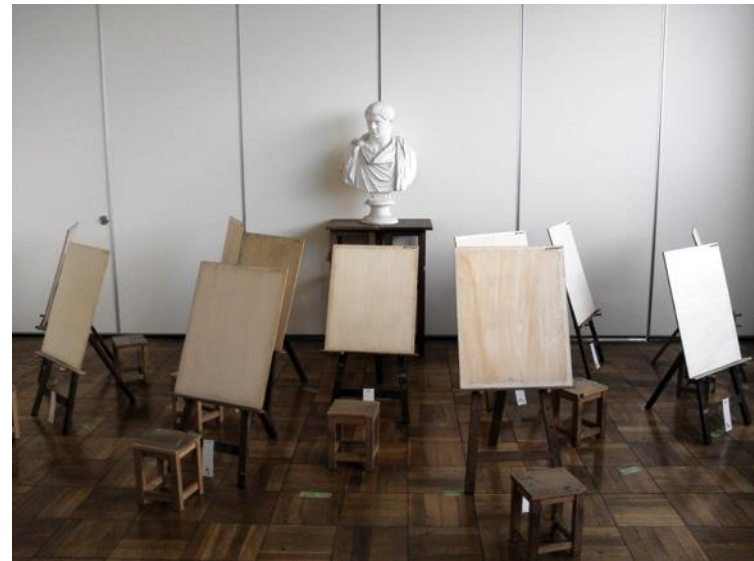
平成24年度入試問題より

□試験時間

9:00～16:00(7時間)

※昼食は12:00～13:00までの間にその場でとる。

(席はくじ引きで決める)



写真の椅子・イーゼルの配置は参考例です。

平成23年度入試



平成24年度入試



平成25年度入試



デザイン科 二次試験 デザイン I (色)

□問題(参彩)

自分でテーブルクロスを美しくデザインし、真上から見たそのテーブルクロスの上に与えられたモチーフ(みかん、キウイ、赤ピーマン、グラス)を構成し、着彩しなさい。

平成25年度入試問題より

- [条件]
1. モチーフは切断しても構わない。
 2. モチーフは4種類必ず入れること。また、何個入れてもよい。
 3. アイデアスケッチは配布された草案用紙 (B4、5枚)を使用すること。
 4. イラストボード(B3サイズ)横位置とする。

□試験時間

9:00～15:00(6時間)

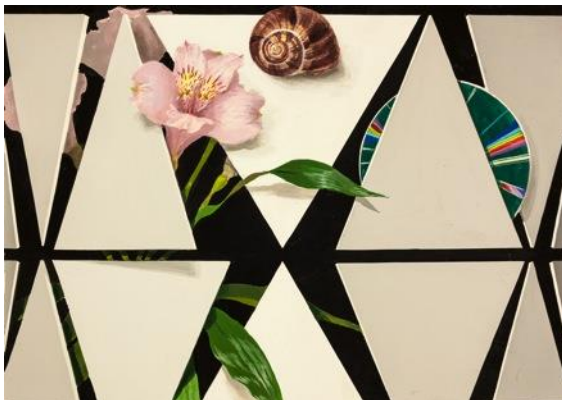
※昼食は12:00～13:00までの間にその場でとる。



平成23年度入試



平成24年度入試



平成25年度入試



デザイン科 二次試験 デザインⅡ(形体)

□問題(参考)

与えられた「乾電池」の形状と、ロゴマークなど乾電池の表面に印刷されている要素を組み合わせ、「循環」をテーマに、立体構成しなさい。

平成25年度入試問題より

- [条件]
1. 「乾電池」は全体、形体、細部等をとらえても良い。
 2. 印刷されている要素の扱いは自由とする。
 3. 高さは30cm以内とし、粘土板(33×40cm)からはみ出ないこと。
 4. 自立すること。
 5. 作品テーマ票に100字以内で制作意図を書き、粘土板の左下に画鋏で留めること。
 6. 作品に「乾電池」の実物を配置しないこと。

□試験時間

9:00～15:00(6時間)

※昼食は12:00～13:00までの間にその場でとる。



平成23年度入試



平成24年度入試



平成25年度入試



Q 入試ではどのような資質と能力を求めていますか？

デザイン科 アドミッションポリシー

問題に対する発想力と展開力、及びこれを的確に表現し伝える能力は、デザイン造形の基礎といえる。

芸術系の大学に位置づけられたデザインの特徴を認識しつつ、やわらかい思考と豊かな感性から発露されるデザイン力を合わせもつ人材を求めたい。

Q センター試験の結果はどのくらい比重がありますか？

Q 入試の情報開示としてABC評価が公表されるが、実際の点数でいうと何点区切りですか？

Q 採点方法・採点基準は？

Q 課題違反はどの程度点数に影響するのでしょうか？

A 申し訳ありませんが、採点・出題に関する質問には一切お答えできません。

Q 障害のある入学志願者に対して特別措置はありますか？

A 事前相談の制度があります。詳細は『入学者選抜要項』を参照してください。事前相談は、直前では対応できないことがありますので、日数の余裕をもってご相談ください。

Q 腰痛持ちですが、試験当日は座布団の持ち込みは許可されていますか？

A 日数の余裕をもって事前にご相談ください。ただし医師の診断書が必要となります。

入試選抜方法の変更の予告

平成28年度入試より東京藝術大学美術学部デザイン科入学者選抜（一般入試）が、次のように変更されます。

実技検査における一次選抜「鉛筆写生」が選択制となります。

一次選抜「鉛筆写生」は下記2つのいずれかを出願時に選択すること。

1) 石膏像デッサン

「石膏像を中心としたモチーフを描写する」

2) 構成デッサン

「設定されたモチーフ（実物に限らず、想定のもちーフも含む）を自由に構成して描写する」

※今回の公表内容は現時点のものです。詳細は後日東京藝術大学ホームページ等で公表します。

※平成28年度入試は、2年半後(2016年1～3月)に実施する入試です。

Q 平成28年度入試より一次選抜「鉛筆写生」が、
「石膏像デッサン」と「構成デッサン」の選択制に
変更になるのは、何を意図したのでしょうか？

A デッサン（dessin）が語源的にデザイン（design）に近いといわれていることでも分かるように、3次元モチーフを2次元の一枚の画面に収めていくデッサンの技量は、マクロの視点から全体のコンポジションを考える洞察力と構成力、事物を客観的に見る観察力、細部にこだわる表現力、現場で起こる様々な制約を積極的に受け入れる適応力など、デザインの要点に大きく繋がります。一次実技検査を選択制にし、デッサン力の評価に幅を持たせることによって、これまで以上に幅広いデザイン資質をもつ人材を選考できると考えます。

入学後について

研究室・指導教員

視覚・演出	河北 秀也
視覚・伝達	松下 計
空間・演出	鈴木 太郎
空間・設計	橋本 和幸
機能・演出	尾登 誠一
機能・設計	長濱 雅彦
環境・設計	清水 泰博
映像・画像	箕浦 昇一
企画・理論	藤崎 圭一郎
描画・装飾	押元 一敏（10月より着任）

Q 授業料免除・入学料免除の制度があると聞きましたが、
どのようなものですか？

A 本学には、経済的な理由、または学資負担者が1年前に死亡・被災したことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる者に対し、選考のうえ、授業料の全額または半額を免除する制度があります。

同様に、入学料の全額または半額を免除する制度があります。

逼迫した経済状態の者に対して選考のうえ、入学料や授業料の徴収を猶予する制度もあります。

また、奨学金も各種あります。詳しくは東京藝術大学ウェブサイト内の「入試案内」→「奨学金」の欄をご覧ください。

www.geidai.ac.jp/enter/scholarship.html

取手校地

1年



上野校地

2~4年・大学院



カリキュラムの概要

- 1年次「デザイン基礎課程 観察と表現／自然と人間」
デザインの基礎である表現力・造形力・観察力・リサーチ力を育成します。
- 2年次「専門基礎課程 発想と表現／生活・衣・食・住・遊」
生活に根ざした実技課題と、選択制の技法の授業などを通して、幅広い視野を育成します。
- 3年次「専門課程 構想と表現／社会・都市・情報」
現代の社会問題や伝統文化との関わりを問う実技課題を通して、構想力・プレゼンテーション力・計画力を養い、専門性を磨きます。
- 4年次「専門課程卒業制作」
4年間の集大成として、学生が主体的にテーマを見つけ、卒業制作に取り組みます。

1年生研修旅行 矢木沢ダム







1年生 基礎実技「塑造」



取手1年生アトリエ





1年生 藝祭 神輿パレード

1年生 課題「座る」







Q 他大学にはない藝大デザイン科の特長は？

A 一学年45人の少人数教育、教官と学生との距離の近さ。プロダクトデザイン、空間デザイン、環境デザイン、グラフィックデザイン、描画、映像など、さまざまな表現領域を学びながら進路が決められるカリキュラムの幅の広さ。

音楽学部や、他の美術領域の学科のそれぞれ才能あふれた学生との横の繋がりが生む創作環境。

1887年(明治20年)東京美術学校開校から125年を超える伝統の厚み。

上野 2年生アトリエ



2年生 課題「プレイグラウンド」





3年生 製本実習



3年 課題 TOKYO BLACKOUT



3年生 古美術研修旅行











Q 専攻(グラフィックデザインやプロダクトデザインなど)
に分かれますか？

A 分かれませんが、ただし学年が進むにつれ、緩やかに専門性を追求できるカリキュラムとなっています。

総合的な視野をもったクリエイターを育成するために、最初から既存のデザイン領域に学生を縛らず、自分の力で適性を見つける指導を行っています。

大学院では、学生は専門領域が違う10の研究室に属し、それぞれの独自の研究・創作活動を行います。

産学連携プロジェクト ネスレ日本(株)



産学連携プロジェクト STARBUCKS



花か

地域連携プロジェクト 松坂屋



地域連携プロジェクト 新潟県三条市 鉄ゼミ



東大との共同授業 ダイソンワークショップ



箭内道彦 集中講義



千宗守 客員教授による茶道実演講義



4年生 卒業制作



4年生 卒業制作 講評



4年生 卒業制作展



Q 就職はできるのでしょうか？

A 過去3年の実績で、就職希望者のおよそ95%[*]が就職しています。就職先に関しては『入試説明会のしおり』P.5の採用実績をご覧ください。

学部卒業生は、就職をする者以外に、大学院に進学する者、留学する者、独立してアーティスト活動を行う者、クリエイターとして起業する者など、多様な進路を歩んでいます。

大学院においては、就職希望者の94%が就職しています。

※進学・フリーランス・留学希望者は統計に入れていません。

SENSE of Wonder

ありふれたマテリアルの もうひとつの様相

"Sense of Wonder" in conjunction with "Tokyo Art Meeting IV,
BUNNY SMASH", at Tokyo University of the Arts

東京アートミーティング [第4回]「うさぎスマッシュ展 世界に触れる方法」
東京藝術大学 関連企画

2013年12/6(金)～12/18(水) 10:00～17:00

東京藝術大学 大学美術館陳列館 無料

東京アートミーティング [第4回]「うさぎスマッシュ展 世界に触れる方法」
東京藝術大学 関連企画

SENSE of Wonder

"Sense of Wonder" in conjunction with "Tokyo Art Meeting IV, BUNNY SMASH", at Tokyo University of the Arts

ありふれたマテリアルの もうひとつの様相

鉄、木、ガラス、プラスチック、紙、木綿、コンクリート、水……人間の生活を支える身近なマテリアルを見つめ直し、ふだん見慣れた姿と違う“マテリアルのもうひとつの姿”を探り出す。本展では、東京藝術大学の教員と在校生が作品制作を通して、人に驚きを与え、発見を促し、好奇心と想像力を刺激し、時に、現代社会への辛辣な批評となるマテリアルのもうひとつの様相を提示する。同時に、学生たちが試みた素材の表現実験の成果を「マテリアルライブラリー」として展示。200点以上の素材サンプルが一堂に集し、触れる体験型展示とする。また、富士ゼイン科が、北越紀州製紙株式会社と開発した機械抄紙過程でまったく化学薬品を使わない無添加の紙「すびん紙(8号)」の展示も行う。

Sense of Wonder(センスオブワンダー)とは、一定の対象(好小孩、自然など)に対して、ある種の不思議さの印象の感覚を表す概念。「ワウワウ」に同じ。

出品作家：松下 計、橋本和幸、鈴木太郎、西村雄輔、小野哲也、佐久間あすか、八木澤優記、小林裕子、中山 開、鷹野 健、佐々木里史、小島沙織、服部勇一、久保田沙耶、三木みどり



写真と出品作品は関係ありません

会 期：2013年12月6日(金)～12月18日(水) 10:00～17:00 会期中無休 観覧無料
会 場：東京藝術大学 大学美術館陳列館
企 画：東京藝術大学美術学部デザイン科+絵画科油画
協 賛：北越紀州製紙株式会社
協 力：株式会社ナカダイ、理想科学工業株式会社、株式会社竹尾

関連企画2 講演会「反現実の美学ーデザイン、フィクション、ソーシャル・ドリーミング」
発行者：アンソニー・ダンロイ・ロイヤル・コレクティブ・オブ・アート・デザイン・イニシアチブズ 他 (実行遠次連絡)
日 時：2013年10月10日(木)18:00～20:00 参加無料
会 場：東京藝術大学上野校地 美術学部中央棟第一講義室
協 力：ブリティッシュ・カウンシル

主 催：東京藝術大学、東京都、東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、産経新聞社
*アクセス：上野駅前公園口、東京メトロ有楽町線湯島駅より徒歩10分、東
京メトロ日比谷線・有楽町線、京成電鉄有楽町線湯島駅より徒歩15分 ※駐車場は
ございませんのでお車での来場はご注意ください。*TEL:〒110-8714 東
京都台東区上野公園12-8 *お問い合わせ:ハローダイヤル 03-5777-8600

【東京文化発信プロジェクト】東京文化発信プロジェクトは、世界初文化発信機関「東京文化発信プロジェクト」の発起人として、東京文化発信プロジェクトを推進する公益財団法人東京都歴史文化財団の取組の一環として実施しているプロジェクトです。都内各地での文化発信活動の推進や、海外からの国際的な連携を促進し、多くの人々が身近な文化発信活動に主体的に関与し、想像力を高めること、国際交流の促進を通じて、また東京文化を世界に発信し、世界に向けて発信しています。

東京藝術大学 美術学部 入試説明会

デザイン科